

津久戸

令和6年11月1日

11月号 新宿区立津久戸小学校

開校120周年記念式典に向けて 校長 本間 基史

11月16日(土)の記念式典に向けて準備が進んでいます。針谷教育長様をはじめ、多くの来賓の方、地域の方、旧職員の方々がご出席くださいます。改めて本校への大きな期待と励ましを感じています。今回、児童が考えた120周年のスローガンは『つなげ!笑顔と希望のバトン』です。児童が主役となって、自校の歴史、地域のことを学び、これからの自分たちの生活に生かしていけるような式典にしたいと考えています。教員の考えた、お祝いの言葉をなぞって、声をそろえて練習するのではなく、自分たちが調べた、自分の言葉で発表をします。会場の広さの都合で、全学年が式典に参加することはできませんが、会場では5、6年生が発表し、1年生から4年生はビデオで出演します。式典の様子は、Teamsで配信しますので、1年生から4年生の児童は、オンラインで参観できます。(5・6年生の保護者の皆様は、区の規定でタブレットの使用対象は児童だけとなっています、保護者のみの参観はできませんのでご了承ください。)子供たちは、津久戸小の歴史を感じ、上学年から、下学年へ伝えていこう、引き継いでいこうという気持ちがあふれています。また、式典当日の午後に同窓会主催で開催される「津久戸小学校同窓会・祝賀会」にも旧職員の方々が多く参加して下さいます。このことも職員として勤めた津久戸小学校への思い入れが強く、何年経っても、学校を盛り上げてあげようという旧職員の方の「つくど愛」が感じられます。

次の周年、150周年までつながっていく周年式典にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。また、本校の卒業生の保護者の方は、同窓会・祝賀会に奮ってご出席ください。昔の担任の先生や専科の先生、校長先生と再会できるかもしれません。

開校120周年を迎えて

周年委員長

今から120年前の1904年(明治37年)4月10日、東京市津久戸尋常小学校が開校しました。

今年は、開校120周年の記念すべき年です。校内は、120周年をお祝いする気持ちで溢れています。春から、記念運動会や、航空写真の撮影を行いました。津久戸小学校のシンボルキャラクターである「つくっぴー」の人文字を全校児童で作りました。その時の写真を用いたクリアファイルを作製しています。児童一人一人に記念品としてお渡しする予定です。どうぞ楽しみに待っててください。

『つなげ!笑顔と希望のバトン』のスローガンのもと、11月16日(土)の開校120周年記念式典の準備を進めています。各学級がお祝いの気持ちを込めて、120周年記念つくっぴーを描いて学年旗にしました。1~4年生はお祝いビデオレターを作成し、5・6年生は当日のお祝い発表の準備をしています。初めての試みではありますが、皆で力を合わせて準備をしていますので、当日が楽しみです。記念式典当日は、会場の都合上、保護者の方の参列はご遠慮いただくことになってしまいます。非常に残念ではありますが、ご理解いただきたく存じます。

津久戸小学校の120年という長い歴史を振り返るとともに、120年の歴史と伝統のバトンを未来へ繋いでいく…一人一人がそんな思いをもって津久戸小学校の120周年をお祝いしたいです。

ふれあい月間・「いじめ」について

生活指導主任

「ふれあい月間」は、学校がいじめ等の問題行動の状況について総点検を行い、その未然防止や早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行うことを目的としています。「いじめ」の定義は法で規定されています。

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

「いじめ防止対策推進法第2条」令和元年5月24日最終改正
嫌だなど感じる行為、言葉は、一人一人異なります。そのため、自分がされて平気なことも、実は相手にとってはストレスを感じさせていることがあります。「相手がどう感じるか」を我々教員も大切にし、いじめの未然防止や早期発見に努めて参ります。

ふれあい月間中、全児童対象にアンケート調査を実施し、児童の様子の把握に生かします。学校からご家庭にご相談させていただくこともございます。学校と家庭で連携を取りながら指導に当たっていきたくと思っています。今後ご理解・ご協力お願いいたします。

子どもから見えるもの

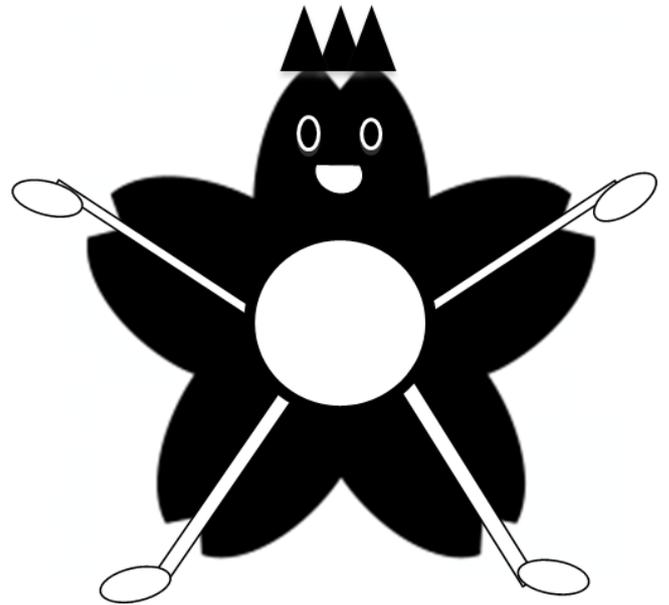
図工専科

6年生は、今「日本の文様から」という作品を制作しています。これは日本の伝統色と文様に親しんで、自分なりのアレンジをして仕上げます。津久戸小学校は伝統に恵まれた環境にありますので、今回は地域の呉服屋「ほてや」さんの力をお借りして、



制作に取り組むことにしました。店内の様子や「鬼滅の刃」が流行後の「文様」への子どもや大人の意識の変容の話題等、身近なところから6年生も興味をもったようでした。和の色の微妙な違いも調節して作る様子から、地域から題材を始める良さを感じました。

また2年生は、「あなのむこうはふしぎな世界」という絵を描きました。これは穴を介してつながる二つの世界を描く題材で、様々な世界を描きます。ビルを描く子が多く、またどれもよく描けていました。素敵な近未来のような風景…登下校での子供の目線からみる地域の様子がよくわかりました。これからも地域との関わりの中でいろいろなことを発見してほしいです。



11月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・校帽や名札をきちんとつけよう
- ・外で元気に遊ぼう
- ・力を合わせて行事を成功させよう
- ・決められたことを守ろう



登下校時に校帽をかぶることは、津久戸小学校の児童であることを地域の方々に知らせ、子供たちを見守っていただくことにもつながっています。また、通学路で何かあった時に、校帽をかぶった高学年の児童が助けになることもあると思います。全校児童の安全を守るために家を出る前に「校帽はかぶった？」と一声掛けていただけると助かります。
(生活指導部)